

「敬老の日」に寄せて

敬老の日を迎えるにあたり、松浦市民を代表して、皆様のご長寿を心からお喜び申し上げます。

市内最高齢者がお生まれになった明治の代から幾多の時代を経て、今年「令和」という新しい時代を迎えました。これまで皆様が進んでこられた長い年月には、想像を超える大変なご苦労があつたことと存じます。

今日、私たちが享受している豊かな社会は、皆様お一人おひとりのご努力の賜物であり、改めて深甚なる敬意と感謝を申し上げます次第であります。

さて、アラブには「老人のいない家は井戸のない果樹園に似ている」という格言があるそうです。これは、高齢者には欠かすことのできない役割があることを論じているものと思います。

現在、本市は豊かな自然とともに、西九州自動車道の延伸に伴う利便性の向上をはじめ、農林水産業、商工業、エネルギー関連等、バランスの取れた安全なまちとしての地位を築きつつあります。しかし、その一方で他の地方都市と同様に人口減少も進んでおり、様々な対策を講じているにも拘らず、未だ歯止めがかかるまでには至っておりません。

このような中、地域経済の活性化とともに子育て環境、教育、福祉、医療の更なる充実を図り、誰もが「住み続けたいを実感できるまちづくり」を進めていく上で、長寿を迎えられる皆様がこれまで培ってこられた豊富な経験と知識は、まさに地域を潤す井戸のように無くしてはならないものと感じております。どうぞ皆様には、今後ともご壮健で松浦市の発展にお力添え賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の末永いご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

令和元年9月

松浦市長 友田 吉 泰

食育推進活動表彰（知事表彰）受賞

新松浦漁業協同組合 女性部（部長 荒木直子さん）が7月23日、長崎県食育推進県民会議において食育推進活動表彰（知事表彰）を受賞されました。

この賞は、地域社会への貢献度が高く、他のモデルとなる実践的な食育推進活動を表彰するもので、新松浦漁業協同組合女性部は、民泊受入れによる魚食文化の紹介、地元小・中・高生への料理教室の開催による魚食の普及啓発、地元産「アジフライ」を松浦の特産品として地域全体へ波及させるなど、地元水産業の活性化に貢献したことが高く評価されました。

荒木部長は、「地道な活動がこのような形で評価を受け、今後も地元が元気になる取り組みを続けていきたい」と話されました。



前列右から2番目が荒木直子さん▶

写真：長崎県提供